

特集 活断層（直下型地震の原因）

中国四川省都江堰付近で5月12日にマグニチュード7.8の大地震が発生し、死者・行方不明者が9万人近くになったのが記憶に新しいうちに、岩手県と宮城県で震度6強の地震が発生し、死者12名、行方不明10名の被害が出ました。

これらの地震に共通するのが、「活断層」です。東海地震のようなプレートの沈み込みによる地震、いわゆる「海溝型地震」と異なり、プレート内の断層がずれることにより発生します。

1 活断層とは

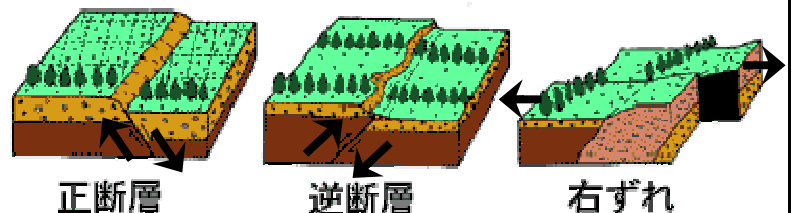
一般的に活断層とは、新生代第四紀後期以降（約180万年前）に地震を起こし、今後も活動を継続すると考えられる断層をいう。断層の活動に地震が伴うことが多いので、活動履歴を研究することで地震の予測に役立つと考えられている。活断層は、長期間連続的に動き続けるのではなく、ある一定の周期で瞬間的に動き、他の期間はあまり目立った活動をしないものが多い。活動周期と1回に動く大きさは、おのおの断層固有の特徴があり、繰り返し期間が短いものほど、1回のうごきが多いことが知られている。この性質を利用して、活断層の断層運動の活発さ、つまり「活動度」を簡便に年間に10mから1m、つまり年1mm以上の平均変位速度をもつものをA級、1000年に1mから10cmをB級、それ以下をC級で評価している。

2 日本の活断層

産業技術総合研究所のデータベースによれば、日本の起震断層は307ヶ所あり、内愛知県には13ヶ所が確認されている。日本の活断層として特に有名なのは、糸魚川ー静岡構造線（フォッサマグナの西辺）、中央構造線（関東ー九州）である。また、過去に大地震を引き起こした根尾谷断層（岐阜県：濃尾地震）、深溝断層（愛知県：三河地震）、野島断層（兵庫県：阪神淡路大震災）などもよく知られている。

3 断層の種類

断層はその「ずれ」の方向によって3種類に分けられる。断層の変位は、断層面の走行方向（横ずれ成分）と傾斜方向（縦ずれ成分）の2成分に分けられ、縦ずれ成分が大きければ縦ずれ断層、横ずれ成分が大きければ横ずれ断層と呼ばれる。

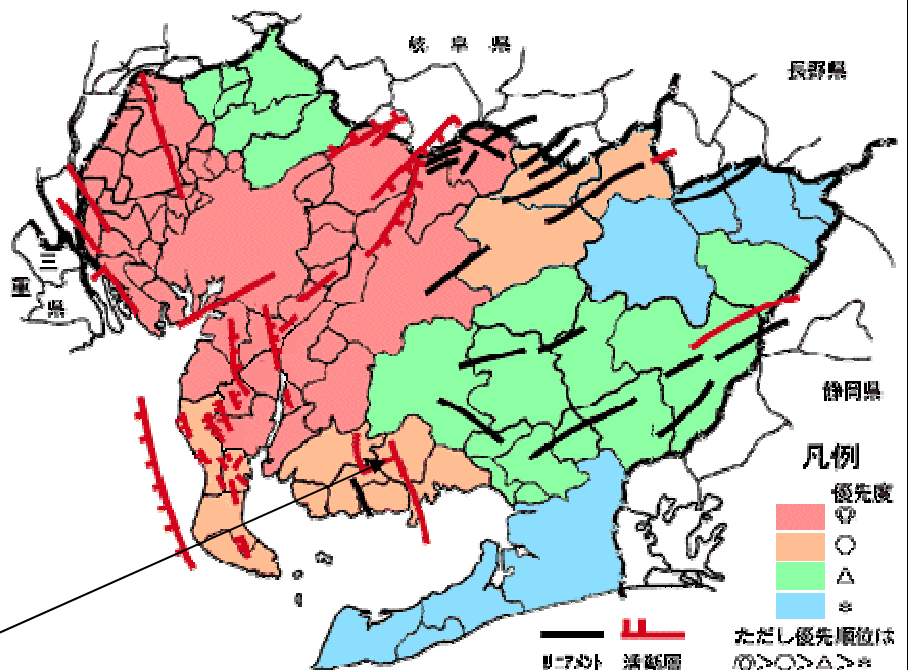


4 三好町の断層

三好町には、猿投ー境川断層が通っているが、調査によると、ランクがBの最下位（0.1m/千年）であり、最後に活動したのが約11800年前であり、最短周期を見ても今後200年間は、活動する確率がかなり低い断層となっている。



深溝断層（幸田町HPより）



愛知県の活断層（県HPより）